

(お知らせ)

柏崎刈羽原子力発電所7号機における  
原子炉冷却材再循環ポンプの羽根上の異物発見について

平成15年10月7日  
東京電力株式会社  
柏崎刈羽原子力発電所

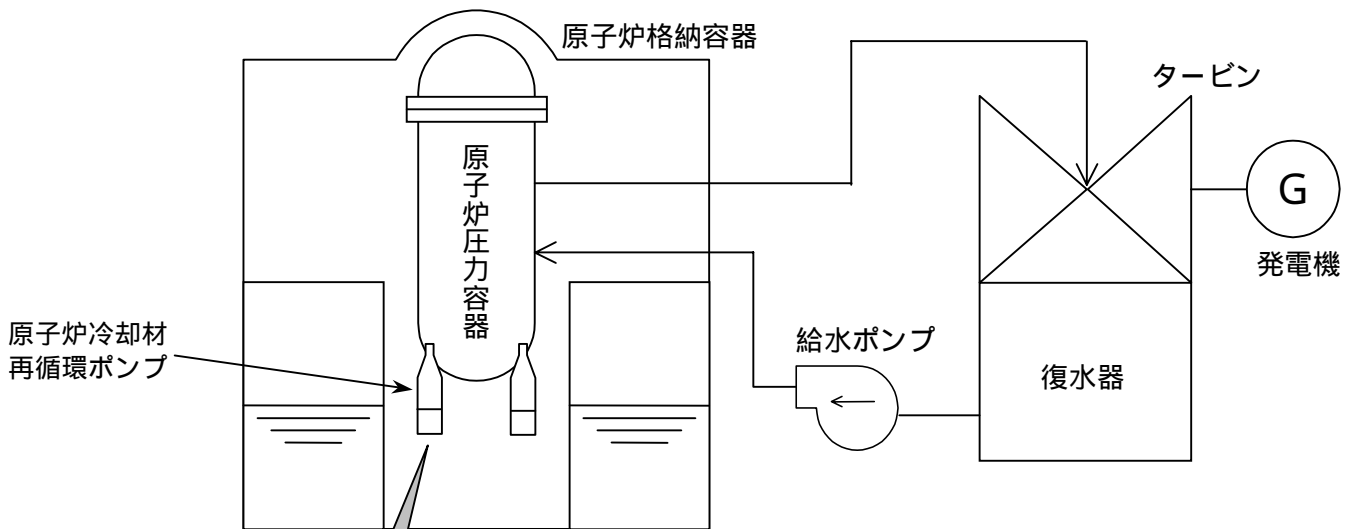
当所7号機(改良型沸騰水型、定格出力135万6千キロワット)は平成15年9月23日から第5回定期検査を実施中のところ、10月6日22時40頃、原子炉冷却材再循環ポンプ<sup>(注)</sup>10台のうち1台について、ポンプの羽根(インペラ)に針金状の異物が噛み込み、微小な傷があることが確認されました。

このため、今後、詳細に調査・点検を実施することといたしました。

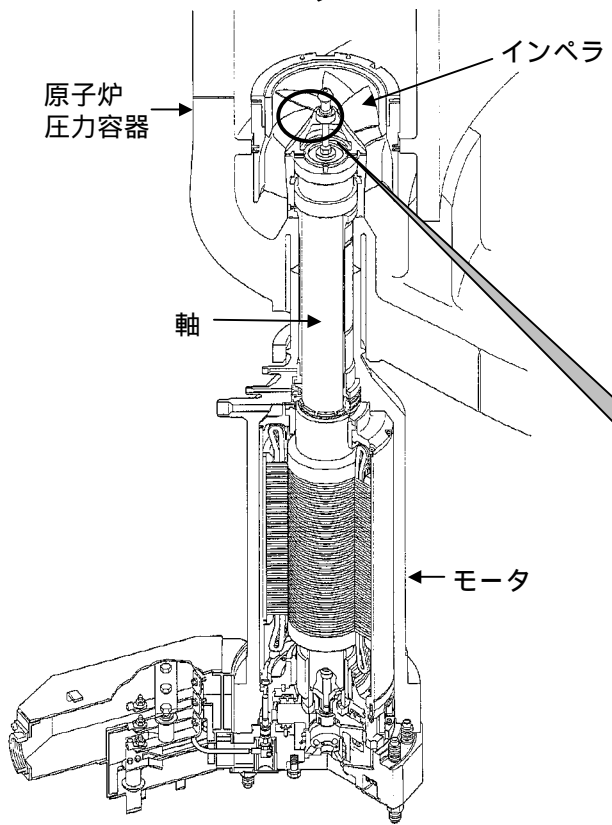
なお、今回の事象による外部への放射能の影響はありません。

(注)沸騰水型原子炉では、原子炉の出力制御は制御棒の挿入・引抜動作と原子炉内を流れる冷却水の流量を増減することにより行います。原子炉冷却材再循環ポンプは、原子炉内の冷却水を循環させるためのもので、ポンプの回転数を変えることにより冷却水の流量を調整し、原子炉出力を制御するものです。

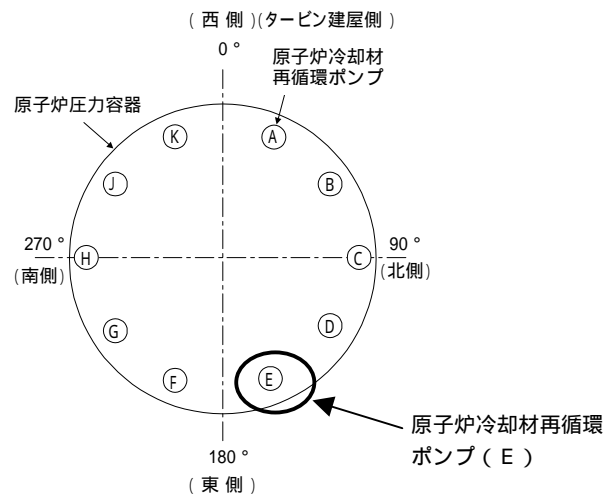
以上



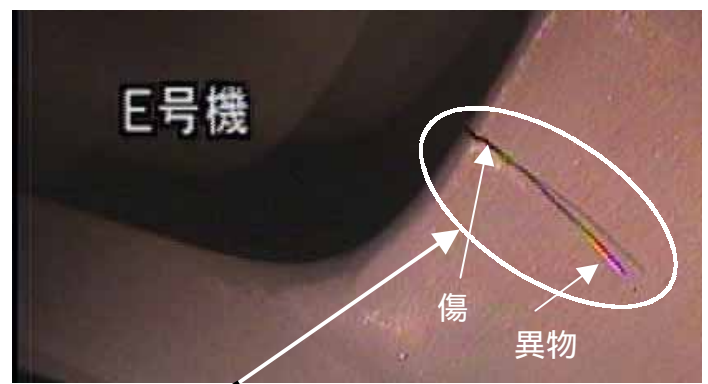
**系統概略図**



**原子炉冷却材再循環ポンプ構造図**



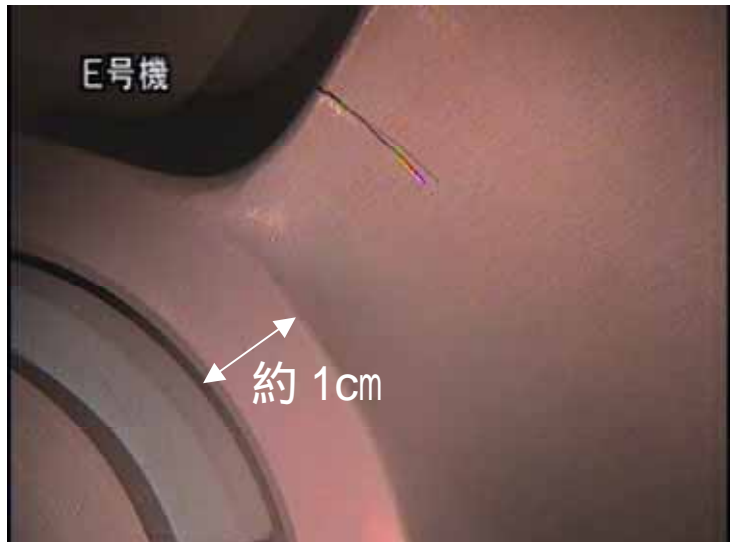
**原子炉冷却材再循環ポンプ配置図**  
(原子炉圧力容器の上から見た配置)



異物及び傷が確認された部位 **ポンプ(E)インペラ拡大写真**



インペラ寸法概略図



傷の確認された部位